

子育て支援員(仮称)研修制度に 関する検討会 第3回専門研修WT(地域保育)	資料3
平成26年10月23日	

子育て支援員~~(仮称)~~専門研修
(地域保育コース)の科目等について
(H26.10.23版)

専門研修(地域保育コース)カリキュラム(案)の考え方

1 カリキュラム(案)の考え方

- 最低限習得しておくことが必要となる子育て支援に関する基礎的な知識・原理・技術・倫理に関するものは、子育て支援員基本研修で習得することを前提とする。
- 子育て支援員(仮称)研修の基本研修及び専門研修(地域保育コース)は、現行の家庭的保育事業の基礎研修と同等以上とする。
- 専門研修(地域保育コース)において必要となる研修カリキュラムを全て盛り込む。(現時点では基本研修の内容を一部含む。)
- 各事業の特性を踏まえ、各事業を通じて共通にできる研修と個別の事業ごとに必要となる研修を分けて選択することとする。このうち、地域型保育事業(家庭的保育、小規模保育、事業所内保育)は共通化する。
- 地域型保育事業の研修を受講した者は、一時預かり事業に従事することができることとする。ただし、一時預かりの研修を受講することを推奨する。
- 見学実習については、地域の実情等に応じ、DVDの視聴等と講義などによる実施を可能とする。また、認可保育所の0~2歳児の保育に関する見学実習による実施も可能とする。

2 カリキュラム(案)の議論の方向性

- 検討会(親会)における基本研修カリキュラムの議論の内容を注視し、基本研修と専門研修で共通化できる科目については、専門研修のカリキュラムから除外することとする。
- 幅広い人材が本研修を受講することを勘案し、研修の時間数について考慮するとともに、地域保育コースの専門研修において、各事業に必要な研修内容が満たされるようにする。

3 カリキュラム（案）の施行に当たっての論点

- 既に家庭的保育事業の基礎研修を修了し、家庭的保育事業に従事している家庭的保育者及び家庭的保育補助者、小規模保育事業に従事している保育従事者等について、子ども・子育て支援新制度施行後も引き続き従事することができるよう配慮する。
- 子育て支援員研修の実施に当たっては、子ども・子育て支援新制度が施行後一定期間は現行の家庭的保育事業の基礎研修での対応を可能とする。

専門研修(地域保育コース)科目・内容イメージ①

【共通】

科目名	区分	時間	内容	目的
乳幼児の発達と心理	講義	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○発達とは ○発達時期の区分と特徴 ○ことばとコミュニケーション ○自分と他者 ○手のはたらきと探索 ○移動する力 ○こころと行動の発達を支える保育者(※)の役割 <p>(※) 【共通】においては、家庭的保育補助者、保育従事者及び提供会員をいう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○0歳から3歳くらいまでの乳幼児期の発達のポイントを理解するとともに、発達に応じた遊びやその安全性について考える。 ○子どもの発達を支える保育者の役割について理解を深める。
食事と栄養	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○離乳の進め方に関する最近の動向 ○栄養バランスを考えた幼児期の食事作りのポイント ○食物アレルギー ○保育者が押さえる食育のポイント 	<ul style="list-style-type: none"> ○離乳の進め方に関する最近の動向を理解する。 ○幼児期の昼食作りに役立つ栄養バランスのポイント、食品衛生の基礎知識を理解する。 ○食物アレルギーについての理解を深める。 ○保育者がおさえる食育のポイントを理解する。
小児保健Ⅰ	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児の健康観察のポイント ○発育と発達について ○衛生管理・消毒について ○薬の預かりについて 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育を行う上で必要となる健康管理のポイントや疾病の予防と感染防止への対応、保育中の発症への対応などの基礎知識について学ぶ。 ○現場に生かせる、より具体的な対応を学ぶ。
小児保健Ⅱ	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもに多い症例とその対応 ○子どもに多い病気(SIDS等を含む)とその対応 ○事故予防と対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもに多い症状・病気を知りその対応を理解する。 ○小児に多い事故を理解し、その予防と対応を実践できる。 ○異物除去法、心肺蘇生法を理解し、緊急時に実践できる。
心肺蘇生法	実技	120分	<ul style="list-style-type: none"> ○心肺蘇生法、AED、異物除去法等 	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児を対象とした救急救命が行えるように、その技術を身につける。

専門研修(地域保育コース)科目・内容イメージ②

科目名	区分	時間	内容	目的
保育環境の整備	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○保育環境を整える前に ○保育に必要な環境とは ○環境のチェックポイント 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育環境の整備にあたり、基本的な考え方と配慮事項を理解する。(家庭的保育は、家庭的保育者の居宅(家族の生活の場)における環境整備が必要であることを理解する。) ○保育に必要な設備・備品とその配置について、具体的事例およびチェックポイントを示し、自己点検を行えるようにする。
安全の確保とリスクマネジメント	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの事故 ○子どもの事故の予防 保育上の留意点 ○緊急時の連絡・対策・対応 ○リスクマネジメントと賠償責任 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育環境上起こりうる危険について理解し、事故を未然に防ぐための予防策や安全確保の留意点について学ぶ。 ○万一事故が起こった場合の対応や報告について理解する。
職業倫理と配慮事項	講義・演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○職業倫理 ○自己管理 ○地域等との関係 ○保育所や様々な保育関係者との関係 ○行政との関係 	<ul style="list-style-type: none"> ○職業倫理について考え、理解を深める。 ○自己管理について学ぶ。 ○地域住民との関係づくりについて考え、学ぶ。(家庭的保育における家庭的保育者の家族との関係にも留意する。) ○保育所やさまざまな保育関係者との関係、行政との関係などについて考え、学ぶ。
子ども虐待	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども虐待への関心の高まり ○子ども虐待とは ○子ども虐待の実態 ○虐待が及ぼす影響 ○子ども虐待の発見と通告 ○虐待を受けた子どもに見られる行動特徴 ○子どもが家で虐待を受けたと思われたならば ○不適切な関わりを防ぐために 	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども虐待についての基本的事項を理解する。 ○保育における虐待の発見、対応の基礎を理解する。 ○保育者が虐待など不適切なかかわりをしないための配慮すべき事柄を理解する。

専門研修(地域保育コース)科目・内容イメージ③

科目名	区分	時間	内容	目的
気になる行動 をする子ども への対応(0 ~2歳児)	講義	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○気になる行動 ○気になる行動をする子どもの行動特徴 ○気になる行動への対応の考え方 ○気になる行動の原因とその対応 ○保育者の役割 ○発達を促す遊びの方法 	<ul style="list-style-type: none"> ○0~2歳の気になる行動をどのように考え、 どうかかわっていけばよいかを行動特徴 の把握などをおして学ぶ。 ○気になる子どもへの対応における保育者の 役割を学ぶ。 ○遊びをおして、子どもの発達を促す方法 を学ぶ。
乳幼児の生活 と遊び	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの発達と生活 ○子どもの遊びと環境 ○人との関係と保育のねらい・内容 ○子どもの一日の生活の流れと役割 	<ul style="list-style-type: none"> ○発達・成長過程に応じた子どもの生活への 援助方法について理解する。 ○年代に応じた子どもの遊びとその設備につ いて理解する。 ○子ども同士の関わりあいが、発達を促すこ とについて理解する。 ○子どもの一日の生活の流れの中で、保育者 の役割を理解する。
グループ討議	演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○討議の目的 ○討議の原則 ○討議の効果 ○討議のすすめ方 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修参加者が討議のテーマにそって話し合 うための方法やマナーを学ぶ。 ○テーマについて、自分の意見を述べたり、 他の参加者の意見を聞く相互作用を通じ て、考えをまとめたり、問題点を整理し たり、解決方法を検討する。 ○今後学びたい内容あるいは助言者に質問し たいことなどを、グループ内で話し合う。 ○テキスト中にある演習、事例の課題につい て、討議の方法を応用してみる。

専門研修(地域保育コース)科目・内容イメージ④

科目名	区分	時間	内容	目的
実施自治体の制度について (任意)	講義	60分 ～ 90分	○関係機関 ○地域資源	○実施自治体の保育関係施策や関係機関について理解する。 ※ 一時預かり事業を含めた地域子ども・子育て支援事業について理解する。

時間数：16時間～16.5時間

専門研修(地域保育コース)科目・内容イメージ⑤

【地域型保育①】

科目名	区分	時間	内容	目的
地域型保育の概要	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○地域型保育の事業概要 ○地域型保育の特徴 ○地域型保育のリスクを回避するための課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域型保育の各事業の概要や位置づけを理解する。 ○地域型保育の特徴を理解し、保育所保育との共通点、相違点を把握する。 ○規模の小さい地域型保育の意義及びリスクについて理解し、リスクを回避するための課題について考える。 <p>(注) 一時預かり事業の研修受講を促す。</p>
地域型保育の保育内容	講義・演習	120分	<ul style="list-style-type: none"> ○地域型保育における保育内容 ○地域型保育の1日の流れ ○異年齢保育 ○新しく子どもを受け入れる際の留意点 ○地域の社会資源の活用 ○保育の計画と記録 ○保育の体制 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域型保育における基本的な1日の流れや保育内容を学ぶ。 ○少人数の異年齢児を保育する際の方法、工夫、留意事項などを学ぶ。 ○新しく子どもを受け入れる際の留意点を学ぶ。 ○計画や記録の必要性を学び、子どもの育ちの見通しをもって保育することの重要性を理解する。
地域型保育の設備運営	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○設備運営基準 ○情報提供 ○受託までの流れ ○地域型保育の運営上必要な記録と報告 	<ul style="list-style-type: none"> ○設備運営基準の内容について理解する。 ○情報提供の方法、受託前の利用者との面接、記録や報告の管理などについて学ぶ。

専門研修(地域保育コース)科目・内容イメージ⑥

【地域型保育②】

科目名	区分	時間	内容	目的
地域型保育における保護者への対応	講義・演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との関わりと対応 ○保護者への対応の基本 ○子育て支援における保護者への相談・助言の原則 ○保護者への対応 ～事例を通して考える～ 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者と協力して子どもの発達を支えるとともに、保護者の子育てを支援する役割についての意義を理解するとともに、そのために必要な知識と技術を身につけることを理解する。 ○その場合の保護者との対応において、保護者との信頼関係づくりや保護者への支援が必要な際の関わり方について、重要なポイントを学び、事例検討などを通して考え、理解を深める。
見学実習オリエンテーション	演習	30分～60分	見学実習で自らが学びたい内容をあらかじめ考える	<ul style="list-style-type: none"> ○見学実習を行うに当たって必要な配慮事項や見学のポイントについて学ぶ。 ○見学実習でどのようなことを学びたいか、あらかじめ考える機会とする。
見学実習	実習	2日以上	1日目 保育の1日の流れを見る 2日目 保育の記録・計画、受付等の書類や環境構成、保護者対応の実際等について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ○地域型保育の現場に出向き、講義で学んだ環境整備や保育内容、安全確保など、実際に見学・観察して理解を深める。 ○保育に取り組むに際して、具体的に参考になることを学ぶ機会とする。(家庭的保育は、家庭的保育者個人の自宅であり、異なる地域の環境の中でそれぞれ独自の工夫をして、保育を展開していることに留意する。) ○子どものおむつ交換、食事の介助など、子どもの生活援助について演習を通じて理解する。ミルクやほ乳瓶などの実物を知る。
	講義・演習	実習と同程度の内容を担保(1日以上)	※地域の実情等に応じ、DVDの視聴等と講義・演習などによる実施も可能とする。(認可保育所での0～2歳児の保育に関する見学実習も可能。)	

時間数：6時間～6.5時間＋2日以上

専門研修(地域保育コース)科目・内容イメージ⑦

【一時預かり事業①】

科目名	区分	時間	内容	目的
一時預かり事業の概要	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○一時預かり事業とは ○一時預かり事業の意義 ○一時預かり事業の特徴 ○一時預かり事業従事者の基本姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ○一時預かり事業の子育て支援としての意義、保育所保育との相違について理解する。 ○一時預かり事業の特徴を理解し、従事者として、子どもや保護者との関わりにおける基本姿勢について学ぶ。
一時預かり事業の保育内容	講義・演習	120分	<ul style="list-style-type: none"> ○一時預かり事業を行う上での配慮事項 ○計画の作成 ○環境の構成 ○発達に応じた保育内容・生活援助 ○分離不安等への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画を作成して保育を行うことの必要性、一時預かりを実施する際の保育環境の特徴について理解する。 ○年齢や発達に応じた保育内容・生活援助をする際の方法や工夫、留意事項などを学ぶ。
一時預かり事業の運営	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○一時預かり事業の業務の流れ ○情報提供、受付、登録 ○記録、保護者への報告 ○職場倫理・チームワーク、職員間の共通理解 	<ul style="list-style-type: none"> ○一時預かり事業の一日の流れを理解する。 ○記録や保護者への報告の記載の仕方、保護者のプライバシーの遵守、職員間の連携の必要性について学ぶ。
一時預かり事業における保護者への対応	講義・演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との関わりと対応 ○保護者への対応の基本 ○子育て支援における保護者への相談・助言の原則 ○保護者への対応 ～事例を通して考える～ 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者と協力して子どもの発達を支えるとともに、保護者の子育てを支援する役割についての意義を理解するとともに、それに必要な知識と技術を身につけるようにする。 ○その場合の保護者との対応において、信頼関係づくりや保護者への支援が必要な際の関わり方について、重要なポイントを学び、事例検討などを通して考え、理解を深める。

専門研修(地域保育コース)科目・内容イメージ⑧

【一時預かり事業②】

科目名	区分	時間	内容	目的
見学実習オリエンテーション	演習	30分～60分	見学実習で自らが学びたい内容をあらかじめ考える	<ul style="list-style-type: none"> ○見学実習を行うに当たって必要な配慮事項や見学のポイントについて学ぶ。 ○見学実習でどのようなことを学びたいか、あらかじめ考える機会とする。
見学実習	実習	2日以上	1日目 保育の1日の流れを見る 2日目 保育の記録・計画、受付等の書類や環境構成、保護者対応の実際等について学ぶ ※地域の実情等に応じ、DVDの視聴等と講義・演習などによる実施も可能とする。 (認可保育所での0～2歳児の保育に関する見学実習も可能。)	<ul style="list-style-type: none"> ○一時預かり事業の現場に出向き、講義で学んだ環境整備や保育内容、安全確保など、実際に見学・観察して理解を深める。 ○保育に取り組むに際して、具体的に参考になることを学ぶ機会とする。 ○子どものおむつ交換、食事の介助など、子どもの生活援助について演習を通じて理解する。ミルクやほ乳瓶などの実物を知る。

時間数：6時間～6.5時間＋2日以上

専門研修(地域保育コース)科目・内容イメージ⑨

【ファミリー・サポート・センター①】

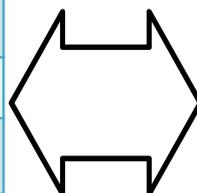
科目名	区分	時間	内容	目的
ファミリー・サポート・センターの概要	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○ファミリー・サポート・センターとは ○ファミリー・サポート・センターの意義 ○ファミリー・サポート・センターの特徴 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域における相互援助活動としてのファミリー・サポート・センターの活動の内容や意義について学ぶ。
ファミリー・サポート・センターの援助内容	講義・演習	120分	<ul style="list-style-type: none"> ○ファミリー・サポート・センター援助活動における基本姿勢 ○会員活動の流れ ○活動を行う上での配慮事項 ○発達に応じた保育内容・生活援助 	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者（提供会員）として子どもや保護者（依頼会員）に対する心構え、配慮しなければならない点について学ぶ。 ○援助活動の流れを理解する。 ○年齢や発達に応じた保育内容・生活援助をする際の方法や工夫、留意事項などを学ぶ。
ファミリー・サポート・センターにおける保護者への対応	講義・演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者との関わりと対応 ○保護者への対応の基本 ○保護者への対応 ～事例を通して考える～ 	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者（依頼会員）と保育者（提供会員）が協力して子どもの発達を支えるとともに、保護者の子育てを支援する役割についての意義を理解する。また、それに必要な知識と技術を身につけるようにする。 ○保護者（依頼会員）との対応において、保護者との信頼関係づくりや保護者への支援が必要な際の関わり方について、重要なポイントを学び、事例検討などを通して考え、理解を深める。
援助活動の実際	講義・演習	120分	<ul style="list-style-type: none"> ○実際の活動について学ぶ 活動経験者に援助活動の実際を聞く 活動に関する疑問・不安等について質疑応答 	<ul style="list-style-type: none"> ○先輩保育者（提供会員）から直接話を聞き、講義で学んだ環境整備、援助内容、安全確保などに関する理解を深める。 ○援助活動に取り組むに際して、具体的に参考になることを学ぶ機会とする。

時間数：6.5時間

専門研修(地域保育コース)カリキュラム案と 家庭的保育者研修(基礎研修)との比較①

【専門研修(地域保育コース)】 ※共通

科目名	時間数
乳幼児の発達と心理	90分
食事と栄養	60分
小児保健Ⅰ	60分
小児保健Ⅱ	60分
心肺蘇生法	120分
保育環境の整備	60分
安全の確保とリスクマネジメント	60分
職業倫理と配慮事項	90分
子ども虐待	60分
気になる行動をする子どもへの対応(0～2歳児)	90分
乳幼児の生活と遊び	60分
グループ討議	90分
実施自治体の制度について(任意)	60～90分



【対応する家庭的保育者研修(基礎研修)】

科目名	時間数
乳幼児の発達と心理	90分
食事と栄養	60分
小児保健Ⅰ	60分
小児保健Ⅱ	60分
心肺蘇生法	120分
家庭的保育の環境整備	60分
安全の確保とリスクマネジメント	60分
家庭的保育者の職業倫理と配慮事項	90分
子ども虐待	60分
気になる子どもへの対応	90分
グループ討議	90分
実施自治体の制度について(任意)	60～90分

※赤字は家庭的保育者研修(基礎研修)に含まれないカリキュラム

時間数：専門研修(共通) 16時間～16.5時間

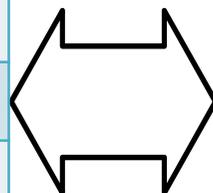
専門研修(地域保育コース)カリキュラム案と 家庭的保育者研修(基礎研修)との比較②

【専門研修(地域保育コース)】 ※各事業

【対応する家庭的保育者研修(基礎研修)】

○地域型保育

科目名	時間数
地域型保育の概要	60分
地域型保育の保育内容	120分
地域型保育の運営	60分
地域型保育における保護者への対応	90分
見学実習オリエンテーション	30~60分
見学実習	2日以上



科目名	時間数
家庭的保育の概要	60分
家庭的保育の保育内容	120分
家庭的保育の運営と管理	60分
保護者への対応	90分
見学実習オリエンテーション	30~60分
見学実習	2日以上

時間数：専門研修(共通) 16時間~16.5時間
 (各事業) 6時間~6.5時間
 + 2日以上

合 計 22時間~23時間
 + 2日以上

時間数：基礎研修 21時間~22時間+ 2日以上

現行の家庭的保育事業の基礎研修から1時間増

※ただし、子育て支援員研修の基本研修は含まれていない。

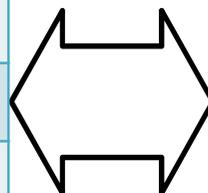
専門研修(地域保育コース)カリキュラム案と 家庭的保育者研修(基礎研修)との比較③

【専門研修(地域保育コース)】※各事業

【対応する家庭的保育者研修(基礎研修)】

○一時預かり事業

科目名	時間数
一時預かり事業の概要	60分
一時預かり事業の保育内容	120分
一時預かり事業の運営	60分
一時預かり事業における保護者への対応	90分
見学実習オリエンテーション	30~60分
見学実習	2日以上



科目名	時間数
家庭的保育の概要	60分
家庭的保育の保育内容	120分
家庭的保育の運営と管理	60分
保護者への対応	90分
見学実習オリエンテーション	30~60分
見学実習	2日以上

時間数：専門研修(共通) 16時間~16.5時間
 (各事業) 6時間~6.5時間
 +2日以上

合計 22時間~23時間
 +2日以上

時間数：基礎研修 21時間~22時間+2日以上

現行の家庭的保育事業の基礎研修から1時間増

※ただし、子育て支援員研修の基本研修は含まれていない。

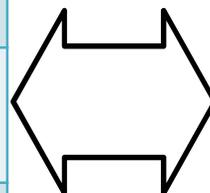
専門研修(地域保育コース)カリキュラム案と 家庭的保育者研修(基礎研修)との比較⑥

【専門研修(地域保育コース)】※各事業

【対応する家庭的保育者研修(基礎研修)】

○ファミリー・サポート・センター

科目名	時間数
ファミリー・サポート・センターの概要	60分
ファミリー・サポート・センターの援助内容	120分
ファミリー・サポート・センターにおける保護者への対応	90分
援助活動の実際	120分



科目名	時間数
家庭的保育の概要	60分
家庭的保育の保育内容	120分
家庭的保育の運営と管理	60分
保護者への対応	90分
見学実習オリエンテーション	30~60分
見学実習	2日以上

時間数：専門研修(共通) 16時間~16.5時間
(各事業) 6.5時間

時間数：基礎研修 21時間~22時間+2日以上

合 計 22.5時間~23時間

現行の家庭的保育事業の基礎研修から時間数は1時間増。見学実習はなし

※ただし、子育て支援員研修の基本研修は含まれていない。

(参考 1) 家庭的保育者研修 (基礎研修) カリキュラム①

科目名	区分	時間	内容	基本	専門
家庭的保育の概要	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭的保育の歴史的経緯 ○家庭的保育の特徴 ○家庭的保育のリスクを回避するための課題 		○
乳幼児の発達と心理	講義	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○発達とは ○発達時期の区分と発達 ○ことばとコミュニケーション ○自分と他者 ○手のはたらきと探索 ○移動する力 ○こころと行動の発達を支える家庭的保育者の役割 		○
食事と栄養	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○離乳の進め方に関する最近の動向 ○栄養バランスを考えた幼児期の食事作りのポイント ○食物アレルギー ○家庭的保育者が押さえる食育のポイント 		○
小児保健 I	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児の健康観察のポイント ○発育と発達について ○衛生管理・消毒について ○薬の預かりについて 		○
小児保健 II	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもに多い症例とその対応 ○子どもに多い病気とその対応 ○事故予防と対応 		○
心肺蘇生法	実技	120分			○

(参考1) 家庭的保育者研修（基礎研修）カリキュラム②

科目名	区分	時間	内容	基本	専門
家庭的保育の保育内容	講義・演習	120分	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭的保育における保育内容 ○家庭的保育の1日の流れ ○異年齢保育 ○新しく子どもを受け入れる際の留意点 ○地域の社会資源の活用 ○家庭的保育の記録 ○保育の体制 		○
家庭的保育の環境整備	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○保育環境を整える前に ○家庭的保育に必要な環境とは ○環境チェックリスト 		○
家庭的保育の運営と管理	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○情報提供 ○受託までの流れ ○家庭的保育の運営上必要な記録と報告 ○個人事業主としての財務管理 		○
安全の確保とリスクマネジメント	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの事故 ○子どもの事故の予防 保育上の留意点 ○緊急時の連絡・対策・対応 ○リスクマネジメントと賠償責任 		○
家庭的保育者の職業倫理と配慮事項	講義・演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭的保育者の職業倫理 ○家庭的保育者の自己管理 ○家庭的保育者自身の家族との関係 ○地域との関係 ○保育所や様々な保育者との関係 ○行政との関係 		○

(参考 1) 家庭的保育者研修 (基礎研修) カリキュラム③

科目名	区分	時間	内容	基本	専門
保護者への対応	講義・演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭的保育における保護者との関わりと対応 ○家庭的保育における保護者への対応の基本 ○子育て支援における保護者への相談・助言の原則 ○保護者への対応 ～事例を通して考える～ 		○
子ども虐待	講義	60分	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども虐待への関心の高まり ○子ども虐待とは ○子ども虐待の実態 ○虐待が及ぼす影響 ○子ども虐待の発見と通告 ○虐待を受けた子どもに見られる行動特徴 ○子どもが家で虐待を受けたと思われたならば ○家庭的保育で不適切な関わりを防ぐために 		○
気になる子どもへの対応	講義	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○気になる行動 ○気になる行動をする子どもの行動特徴 ○気になる行動への対応の考え方 ○気になる行動の原因とその対応 ○保育者の役割 ○遊びー日本に伝承されてきた育児法を用いるー 		○
見学実習オリエンテーション	演習	30分～60分	<ul style="list-style-type: none"> ○見学実習のポイントと配慮 ○見学を引き受ける際の留意事項 		○
グループ討議	演習	90分	<ul style="list-style-type: none"> ○討議の目的 ○討議の原則 ○討議の効果 ○討議のすすめ方 		○

(参考 1) 家庭的保育者研修 (基礎研修) カリキュラム④

科目名	区分	時間	内容	基本	専門
見学実習	実習	2日以上	複数の家庭的保育者のもとで家庭的保育を実習 ○保育日誌・家庭連絡帳の作成の仕方 ○実習日誌作成・提出 (実習のうち1日は家庭的保育の1日の流れを体験)		○
実施自治体の制度について(任意)	講義	60分～ 90分	○連携保育所 ○関係機関 ○地域資源 ○巡回指導・監査指導等 ○報告事項などについて		○

(参考2) ファミリー・サポート・センター研修カリキュラム

科目名	講師	時間 (目安)
1 保育の心	保育士・保健師	2時間
2 心の発達とその問題	発達心理の専門家	4時間
3 身体の発達と病気	小児科医	2時間
4 小児看護の基礎知識	看護師・保健師	4時間
5 安全・事故	医師・保健師・保育士	2時間
6 子どもの世話	保健師・保育士	2時間
7 子どもの遊び	保育士	2時間
8 子どもの栄養と食生活	栄養・保育学科栄養学の専門家、 管理栄養士等	3時間
9 事業を円滑に進めるために	ファミリー・サポート・センターアドバイザー等	3時間
合 計		24時間